

## 第 37 回

# パチンコ景気動向指数 (DI)

## 調査結果

DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、平成 12 年 6 月より四半期 (3、6、9、12 月) ごとに実施している調査。

今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業  
日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2009 年 6 月 19 日 ~ 2009 年 6 月 30 日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回収状況： 有効回収数 99 社

2009 年 7 月

# 調査結果のポイント

## 全般的業況はマイナス 2.5 とやや後退

現況(平成 21 年 6 月)の各社の業況判断DI値は、マイナス 2.5 と前回調査時の 2.9 から、5.4 ポイントの悪化となった。

見通し(3ヶ月後)については、6.6 とやや数値を上げている。

< 各規模事業者ともに業況改善 >

現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス 28.2 と前回の 2.6 から 30.8 ポイントの悪化。中規模事業者でDI値 2.8 と前回のマイナス 11.8 から 14.6 ポイントの改善。大規模事業者はDI値 14.9 と前回の 18.2 から 3.3 ポイントの悪化となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス 7.7)、中規模事業者(マイナス 8.3)、大規模事業者(29.8)と、大・小規模事業者で現況より数値改善となっている。中小規模事業者ではマイナス圏となっている。

## パチンコ現況は悪化、小規模事業者の落ち込み目立つ

パチンコ現況の稼働状況は 1.7 と、前回の 10.6 から 8.9 ポイントの悪化となった。

見通し(3ヶ月後)は 8.3 となっており、現況より回復を見込んでいる。

前3月期と比べると、小規模事業者は 26.7 ポイントの悪化、中規模事業者は 5.7 ポイントの悪化、大規模事業者は 1.8 ポイントの改善と小規模事業者での落ち込みが目立っている。

## 12 月期以降小幅ながら回復基調にあるパチスロ市況

マイナス 40.5 と、前回のマイナス 44.8 からは 4.3 ポイントの上昇となっている。5 号機時代を迎えた一昨年 9 月期以降パチスロ市況は低迷を続けていたが、昨年の 12 月以降小幅ではあるが数値を上げてきている。

見通し(3ヶ月後)は、マイナス 34.7 と、パチンコと同様に現況より回復を見込んでいる。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3 店保有)がマイナス 42.1、中規模事業者(4~10 店舗)がマイナス 61.1、大規模事業者(11 店舗以上保有)がマイナス 23.4 となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は 2.6 ポイントの改善、中規模事業者は 5.2 ポイントの悪化、大規模事業者は 9.9 ポイントの改善となっている。

## 大規模事業者では 3/4 での導入実績ある各台計数機。導入メリットは「人件費の低減」、デメリットは「出玉感が出せない」

各台計数機の導入状況は、「一部の島への部分導入」「全台への導入」を含めて事業規模別にみると、小規模事業者では1割強にとどまっているものの、中規模事業者では約4割、大規模事業者では75%と4社に3社で既に導入が進んでいる。

また、低貸玉営業の実施有無別には、低貸玉営業実施企業での導入率(44.0%)が未実施企業での導入率(7.0%)を大きく上回っている。

各台計数機の導入メリットについての自由回答からは、導入の有無にかかわらず「人件費の低減、削減が図れる」(58 件)とのコメントが最も多かった。導入のデメリットや導入阻害要因としては、「出玉感のなさ」(39 件)が最も多く、次いで「導入コスト、設備投資負担」(27 件)が続いている。

# 景況キーワード

## 社会情勢、消費者ニーズの急変への対応問われる時期に

『社会情勢、消費者ニーズが急変するなかで、業界として先を見据えた構造への変化が求められる。』との声に代表されるように、将来を見据えた対応が問われる時期にあるとの認識がもたれている。また『最近、大型連休等は普通より売上が上昇しない。それだけレジャーの多様化が進んでいる。』、『景気の悪化で低貸玉営業の併設店が多くなってきている。』、『今年の暮れにかけて、可処分所得の減少が怖い』といった意見も。

## 高コストへの不満や、お客様へのしわ寄せを懸念する声も






『店もお客様もお金がかかりすぎる。現状でパチンコ、パチスロは大衆娯楽といえるのか。』や『メーカーの抱き合わせや台数縛りが大きくホールに負担を与えている。機械寿命もさほど長くない、お客様への負担が大きくなる。』といった意見のように高コスト構造への不満、批判の声があがっている。

### < 主要指標 パチンコ業界全体 >

項目	D.I. 値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	2.9	-2.5	6.6	 ⇨ 		全般的業況は、やや数値下げても曇りを維持。見通しも曇り。
2. 稼働状況 (パチンコ)	10.6	1.7	8.3	 ⇨ 		現況は薄曇りから曇りに悪化。先行き見通しも曇り。
3. 稼働状況 (パチスロ)	-44.8	-40.5	-34.7	 ⇨ 		現況引き続いて雷雨。先行き見通しも雷雨。数値は回復傾向に。
4. 資本投入気運の変化 (台)	20.9	3.0	-11.1	 ⇨ 		現況は薄曇りから曇りに悪化。先行き見通しは雨。
5. 資本投入気運の変化 (設備)	-3.4	3.0	5.1	 ⇨ 		現況はやや数値を改善し曇りを維持。見通しも曇り。
6. 営業用設備の不足感	-1.0	3.3	1.7	 ⇨ 		設備不足感はほぼ横ばい。見通しも小康状態を保つ。
7. 雇用人員の不足感	17.1	0.0	3.3	 ⇨ 		人材不足感は小康状態を保つ。

注：前回現状は2009年3月調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
 晴れ	30.0 ~	 雨	-29.9 ~ -10.0
 薄曇り	10.0 ~ 29.9	 雷雨	~ -30.0
 曇り	-9.9 ~ 9.9		

# 全般的概要 - 業況

## 業況判断DI値はマイナス2.5とやや後退

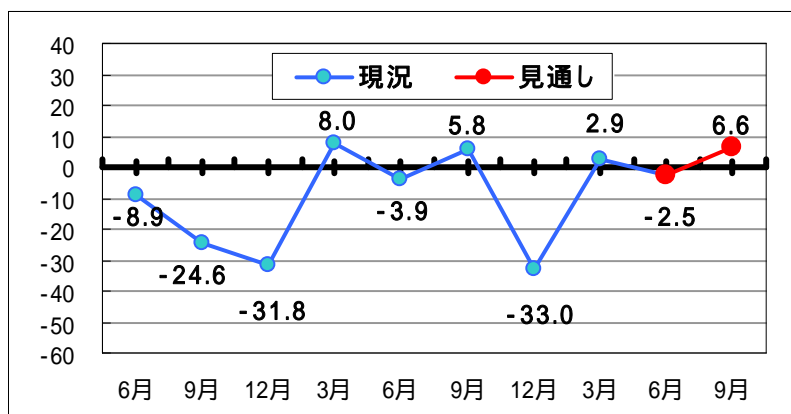
現況(平成21年6月の業況判断)は「良い」が0.5ポイント減少して20.5%となり、「悪い」が4.9ポイント増加して23.0%となり、DI指数はマイナス2.5と前回の2.9から、5.4ポイントの悪化となった。

見通し(3ヶ月後)については、6.6とやや数値を上げている。

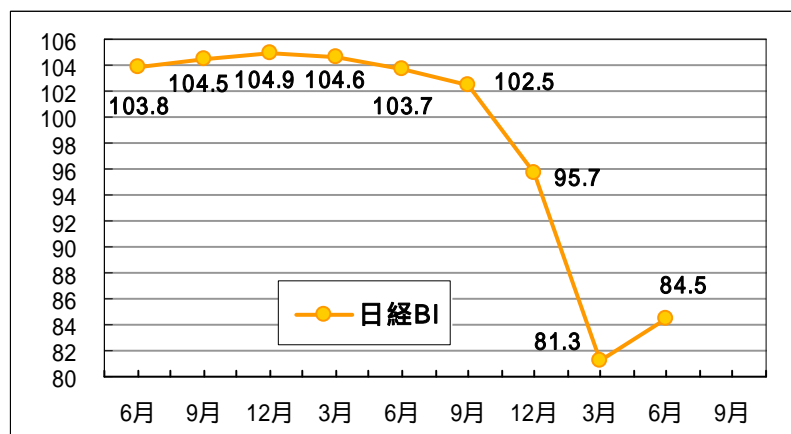
代表的な民間の景気動向指数である日経景気インデックス「日経BI」の5月速報値は84.5(2005年平均=100)となり前月から3ポイント上昇した。日経BIが改善するのは2ヶ月連続。また、短期の振れの影響を取り除いた3カ月移動平均でも5月は15カ月ぶりに前月水準を上回り、景気の底入れ感が一段と強まったことを示した。

5月は日経BIを構成する鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率の4指標のうち有効求人倍率を除く3指標が改善した。サラリーマンの所得変動を示す所定外労働時間は、全産業では前月を2.5%上回った。

< 現況の推移と見通し >



< 日経景気インデックスデータ (日経BI) >



インデックスデータは、1 - 3月の平均を3月に示した。直近の3月は2月速報値。

日経景気インデックス(日経BI)  
 景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の4つの側面を代表する指標(鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率)から共通する「景気の波」を抽出したものである。「景気」そのものの変化方向と水準を表す。構成要素の4指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。  
 BIはビジネス・インデックス(Business Index)の略。(2005年7月=100)

## 全般的概要 - 業況判断理由と経営上の課題

### 悪業績の理由、『来店客数の減少』に加えて『客単価の減少』が再び浮上

業況判断を「悪い」(23.0%)と下した理由は、『来店客数の減少』(84.0%)、『客単価の減少』(8.0%)、『店舗数の増加』(4.0%)の順となっている。『客単価の減少』については、前3期の5.9%(9月)、3.6%(12月)、0.0%(3月)と比べて高い数値となっている。

### 経営上の課題は、中小規模事業者で『設備・運営費の増加』、大規模事業者で『同業他社との競争激化』、『人材不足・人材確保』上昇

経営上の課題で、全体で前回より回答率が上昇したのは『設備・運営費の増加』(26.0%:7.8ポイント上昇)となっている。事業者の規模別にみると、小規模事業者では、30.3%(20.6ポイント上昇)、中規模事業者では23.1%(7.3ポイント上昇)、大規模事業者では25.0%(11.8ポイント減少)となっている。

大規模事業者では、『同業他社との競争激化』(62.5%:25.7ポイント上昇)や『人材不足・人材確保』(20.8%:10.3ポイント上昇)などが課題として浮上してきている。

### 『メーカーの遊技機販売の縛り』は小規模事業者にとり影響大

前3月期より設問に加えた『メーカーの遊技機販売の縛り』は全体では54.2%で1位となっている。事業者の規模別にみると、小規模事業者では、64.1%(1位)、中規模事業者では51.5%(1位)、大規模事業者では41.7%(3位)となっている。特に、小規模事業者にとっては大きな課題となっている。

#### < 経営上の課題 >

項目	全体 (12月)	全体 (3月)	全体 (6月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
メーカーの遊技機販売の縛り	-	56.8%	54.2%	64.1%	51.5%	41.7%
人材教育・育成	45.2%	60.2%	52.1%	51.3%	48.5%	58.3%
同業他社との競争激化	57.5%	50.0%	50.0%	46.2%	45.5%	62.5%
資金調達	31.5%	25.0%	27.1%	20.5%	33.3%	29.2%
設備・運営費の増加	27.4%	18.2%	26.0%	23.1%	30.3%	25.0%
公的な規制	20.5%	17.0%	21.9%	23.1%	21.2%	20.8%
人材不足・人材確保	16.4%	10.2%	16.7%	10.3%	21.2%	20.8%
不明瞭な行政指導	20.5%	19.3%	14.6%	17.9%	3.0%	25.0%
時間帯・曜日などの客の偏り	28.8%	19.3%	14.6%	12.8%	24.2%	4.2%
人件費の増加	13.7%	8.0%	10.4%	10.3%	12.1%	8.3%
組合の自主規制	11.0%	4.5%	2.1%	0.0%	6.1%	0.0%
料金改定が困難	1.4%	-	-	-	-	-

：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

# 全般的概要 - 稼働状況

## パチンコ現況は悪化、小規模事業者の落ち込み目立つ

現況の稼働状況は1.7と、前回の10.6から8.9ポイントの悪化となった。

見通し(3ヵ月後)は8.3となっており、現況より回復を見込んでいる。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店舗保有)がマイナス13.2、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス2.8、大規模事業者(11店舗以上保有)が17.0となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は26.7ポイントの悪化、中規模事業者は5.7ポイントの悪化、大規模事業者は1.8ポイントの改善と小規模事業者での落ち込みが目立っている。

## 12月期以降小幅ながら回復基調にあるパチスロ市況

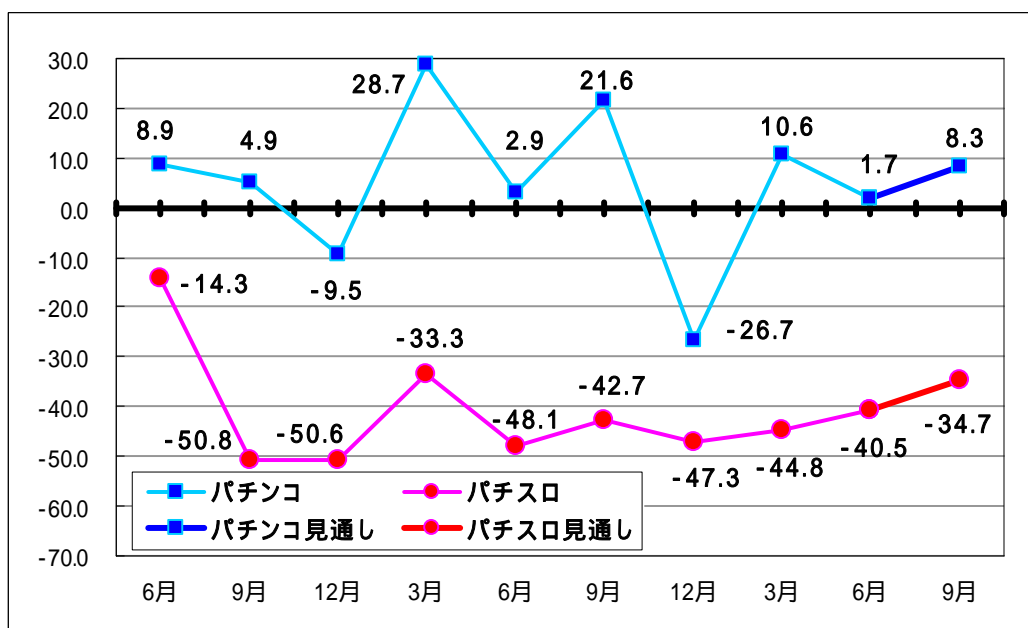
現況の稼働状況は、マイナス40.5と、前回のマイナス44.8からは4.3ポイントの上昇となっている。5号機時代を迎えた一昨年9月期以降パチスロ市況は低迷を続けていたが、昨年の12月以降小幅ではあるが数値を上げてきている。

見通し(3ヶ月後)は、マイナス34.7と、パチンコと同様に現況より回復を見込んでいる。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店舗保有)がマイナス42.1、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス61.1、大規模事業者(11店舗以上保有)がマイナス23.4となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は2.6ポイントの改善、中規模事業者は5.2ポイントの悪化、大規模事業者は9.9ポイントの改善となっている。

<稼働状況の推移と見通し(パチンコとパチスロ)>



# 地域別の業況

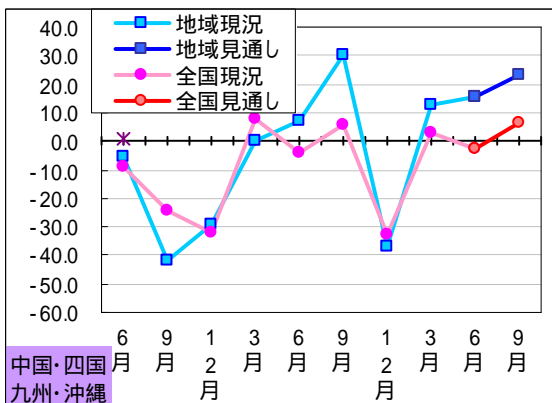
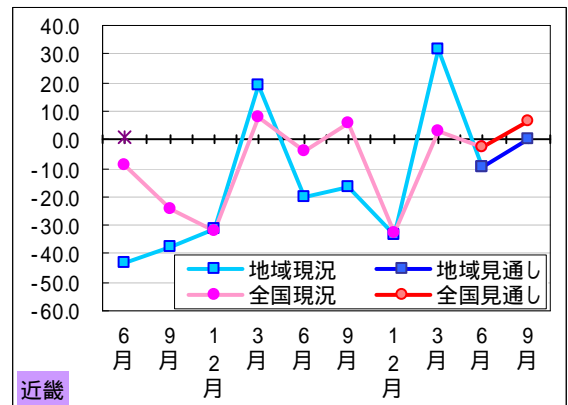
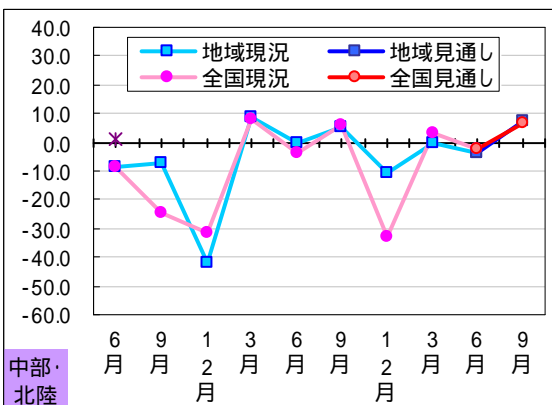
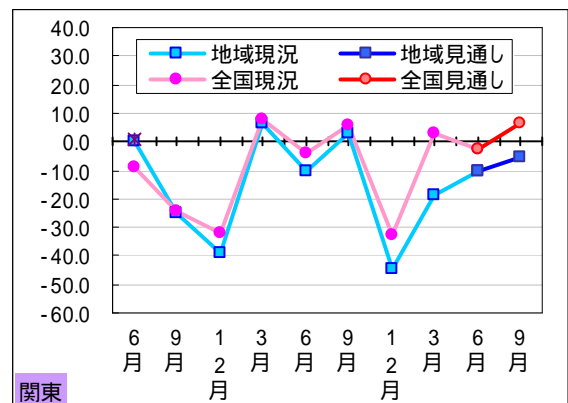
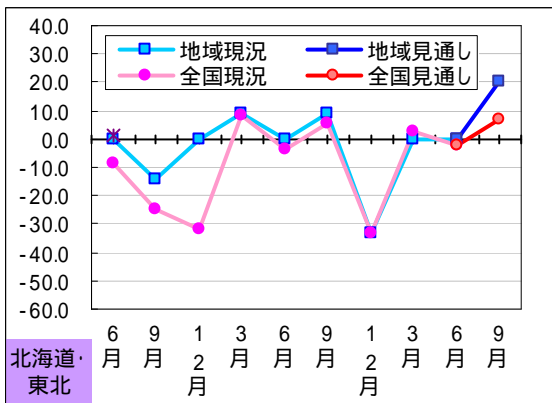
「近畿」の落ち込みと「関東」の回復目立つ現況、見通しは「関東」、「近畿」を除いてプラス圏に

現況のDI値は、「近畿」、「中部・北陸」で前3月期に比べて数値を下げている。「北海道・東北」は横ばいで、「関東」、「中国・四国・九州・沖縄」は数値を上げている。

見通し(3ヶ月後)については、マイナス5.3の「関東」と0.0の「北海道・東北」を除いて、全てプラス圏の数値となっている。

<地域別集計母数>

地区別業況判断の集計母数は以下。北海道・東北(10)、関東(38)、中部・北陸(27)、近畿(21)、中国・四国・九州・沖縄(26)





# 規模別業況

## 現況落ち込み激しい小規模事業者、見通しは中小規模でマイナス圏

現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス 28.2 と前回の 2.6 から 30.8 ポイントの悪化。中規模事業者でDI値 2.8 と前回のマイナス 11.8 から 14.6 ポイントの改善。大規模事業者はDI値 14.9 と前回の 18.2 から 3.3 ポイントの悪化となっている。

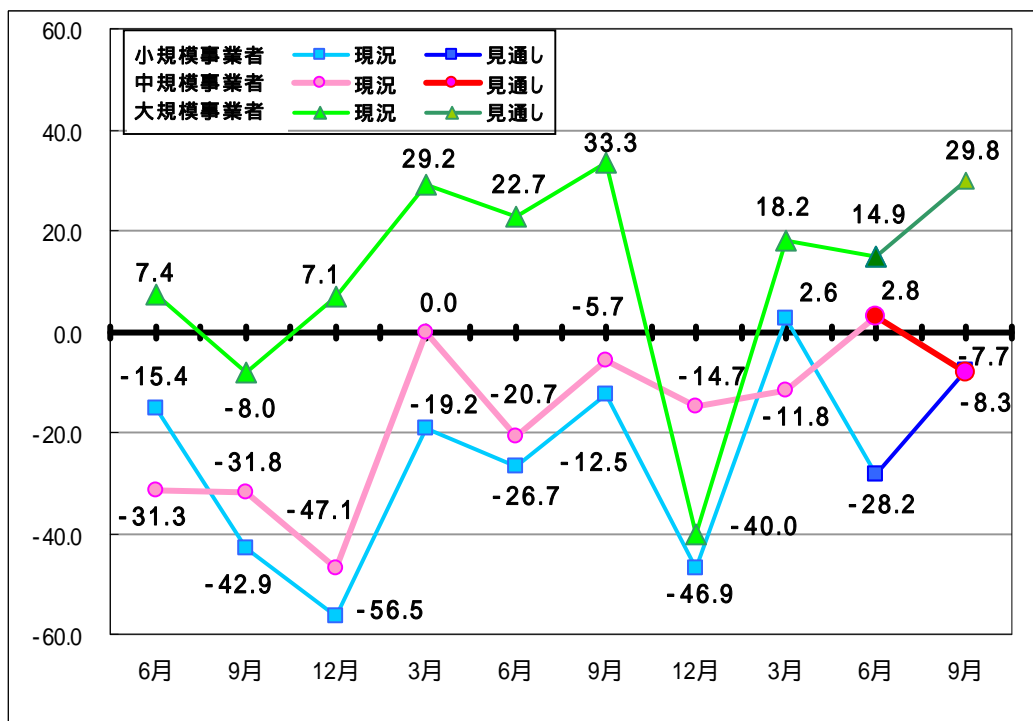
見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス 7.7)、中規模事業者(マイナス 8.3)、大規模事業者(29.8)と、大・小規模事業者で現況より数値改善となっているも、中小規模事業者ではマイナス圏となっている。

### < 規模別集計母数 >

複数の地域で店舗展開をしている事業者の場合、地域ごとの業況判断を事業規模ごとにまとめて集計している。規模別業況判断の集計母数は以下。

小規模事業者(39)、中規模事業者(36)、大規模事業者(47)

### < 規模別：業況の推移と見通し >



注：小規模事業者 = 1 ~ 3 店舗 中規模事業者 = 4 ~ 10 店舗 大規模事業者 = 11 店舗以上



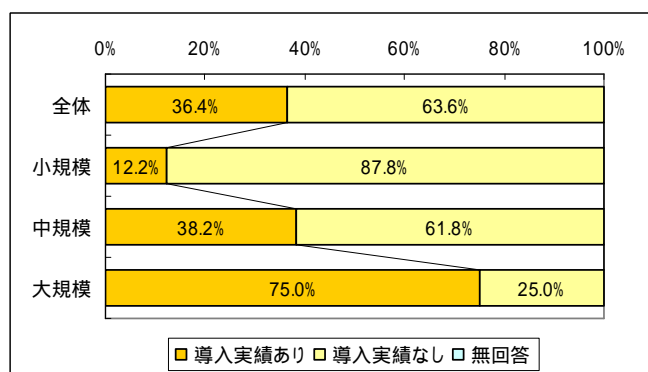
# 各台計数機導入について

## 大規模事業者では 3/4 で導入実績あり

各台計数機の導入状況は、「一部の島への部分導入」「全台への導入」を含めて事業規模別にみると、小規模事業者では1割強にとどまっているものの、中規模事業者では約4割、大規模事業者では75%と4社に3社で既に導入が進んでいる。

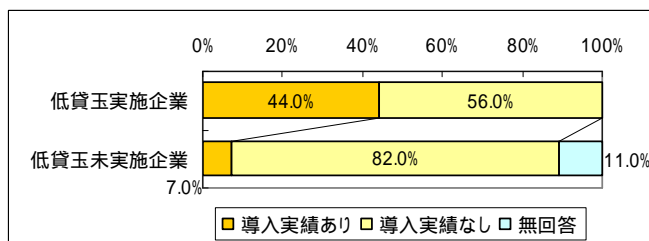
また、低貸玉営業の実施有無別には、低貸玉営業実施企業での導入率(44.0%)が未実施企業での導入率(7.0%)を大きく上回っている。現時点での各台計数機の導入状況別の今後の導入予定では、既導入企業では約7割が今後の導入予定ありとしている。

< 事業規模別各台計数機導入状況 >

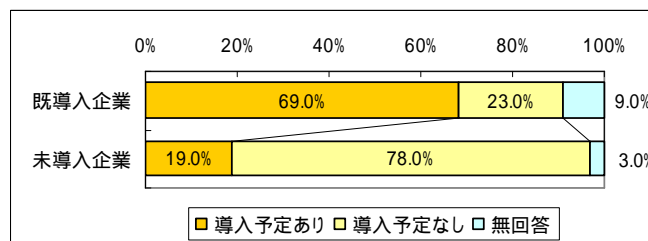


注：小規模事業者 = 1 ~ 3店舗 中規模事業者 = 4 ~ 10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

< 低貸玉営業導入有無別各台計数機導入状況 >



< 各台計数機導入有無別今後の各台計数機導入予定 >



## 導入メリットは「人件費の低減」、デメリットは「出玉感が出せない」

各台計数機の導入メリットについての自由回答からは、導入の有無にかかわらず「人件費の低減、削減が図れる」(58件)とのコメントが最も多かった。次いで、「スタッフの労力減や人員の削減につながる」や「スタッフによるサービスの充実」がほぼ同数(16-7件)あげられている。その他の意見としては、「通路スペースの確保」や「台移動が楽」といった声も複数あげられている。少数意見としては、「次の時代の方向性」、「会員数の増加への期待」、「顧客遊技データ活用の可能性」、「複数レートのやりやすさ」、「採用面で有利になる」、「女性スタッフの活用」など。

導入のデメリットや導入阻害要因としては、「出玉感のなさ」(39件)が最も多く、次いで「導入コスト、設備投資負担」(27件)が続いている。その他の意見としては、「顧客への浸透に時間がかかる、説明が必要」、「ゴト対策が大変」などの声も複数あげられている。ゴトへの不安は、ほとんどが未導入店による意見となっている。少数意見としては、「お客様との接点が少なくなる」、「遊技をやめやすい」、「お客様も店と同様に保守的なのでは?」、「無駄」など。

# 調査結果概要 DATA

## 規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		2.6	-28.2	-7.7	-11.8	2.8	-8.3	18.2	14.9	29.8
2. 稼働状況（パチンコ）		13.5	-13.2	-2.6	2.9	-2.8	-13.9	15.2	17.0	34.0
3. 稼働状況（パチスロ）		-44.7	-42.1	-36.8	-55.9	-61.1	-63.9	-33.3	-23.4	-10.6
4. 資本投入気運の変化（台）		13.9	-4.9	-26.8	32.3	5.9	5.9	15.8	12.5	12.5
5. 資本投入機運の変化（設備）		-10.8	-4.9	-7.3	0.0	14.7	17.6	5.3	0.0	8.3
6. 営業用設備の不足感		0.0	12.8	5.3	0.0	0.0	2.8	-3.0	-2.1	-2.1
7. 雇用人員の不足感		21.1	-2.6	-2.6	20.6	5.6	13.9	9.1	-2.1	0.0

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

## 地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		0.0	0.0	20.0	-18.8	-10.5	-5.3	0.0	-3.7	7.4
2. 稼働状況（パチンコ）		-11.1	-10.0	0.0	-12.5	0.0	5.3	0.0	3.8	11.5
3. 稼働状況（パチスロ）		-77.8	-50.0	-30.0	-65.6	-43.2	-40.5	-27.3	-44.4	-40.7
4. 営業用設備の不足感		0.0	0.0	0.0	6.3	5.3	5.3	0.0	-3.7	-7.4
5. 雇用人員の不足感		33.3	-10.0	-20.0	21.9	-2.6	7.9	4.5	-7.4	0.0
項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄			営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し			
1. 全般的業況		31.6	-9.5	0.0	13.0	15.4	23.1			
2. 稼働状況（パチンコ）		52.6	4.8	9.5	26.1	3.8	11.5			
3. 稼働状況（パチスロ）		-36.8	-38.1	-33.3	-26.1	-30.8	-23.1			
4. 営業用設備の不足感		-15.8	14.3	10.0	0.0	0.0	0.0			
5. 雇用人員の不足感		10.5	14.3	9.5	21.7	3.8	-3.8			

## 資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査
資金繰り		-13.5	-4.7	-5.1	-34.4	8.3	-2.4	6.5	-16.1	-8.8	-16.7	-10.5	-4.2
貸出態度		-35.6	-29.1	-24.7	-45.2	-30.6	-17.5	-32.3	-32.3	-18.2	-18.2	-21.1	-45.8
借入金利		0.0	10.7	-3.1	0.0	17.1	0.0	3.2	13.3	-3.0	-9.1	-5.3	-8.3

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

SERVICE

## 提供商品

# Entertainment Business Institute



### 基礎研究・応用研究

### コンサルティング・講演・勉強会

・経営支援・人材育成・店舗運営・事業企画、開発

### パーラー向け会員サービス「**Aclub®**」

・電子メール、FAX情報提供・セミナー優待

### 出版・研究報告書

・パチンコ参加実態調査  
・駅別乗降者数総覧<年刊>  
・研究報告書、関連書籍

### インターネット・システム構築

・社内ネットワーク設計  
・ホームページ制作、運用支援

### カジノ関連

・UNLVエグゼクティブセミナー  
・カジノ視察ツアーコーディネート

# 第38回 パチンコ景気動向指数（DI）調査に ご協力を

## 業界四団体が協力

本調査は

- ・日本遊技産業経営者同友会
- ・日本遊技関連事業協会
- ・パチンコ・チェーンストア協会
- ・余暇環境整備推進協議会

の業界4団体のご協力を得て実施しております。

## 金融機関も参考にするデータ

最近では、銀行、証券会社等からの本調査に関するお問合せも増えており、パチンコ業界の業況を示すデータとしてその重要性は高まってきています。

## ぜひ、本調査にご協力ください。

貴社のデータが加わることで、よりパチンコ業界の現況を正しく業界の内外に伝えることが可能になります。

ご協力をいただける方は下記にご記入のうえ

F A X : 0 3 - 5 6 8 8 - 5 3 5 3 へご返信ください。

次回(9月)に調査用紙をご送付いたします。

御社名		店舗名	
御担当者役職		御名前	
電話番号		ファックス番号	
メールアドレス			

ご記入いただいた情報はエンタテインメントビジネス総合研究所よりの調査依頼のご送付に利用いたします。調査に関連して、ご連絡を差し上げる場合もあります。



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所  
<http://www.eb-i.jp> メール：info@eb-i.jp  
電話：03-5688-4751 ファックス：03-5688-5353